

みずほCustomer Desk Report 2016/05/19号(As of 2016/05/18)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	108.83 AUD/USD
TKY 9:00AM	109.02	1.1314	123.36	0.9804	1.4454	0.7317
SYD-NY High	110.25	1.1316	123.90	0.9880	1.4634	0.7330
SYD-NY Low	108.73	1.1215	122.97	0.9799	1.4403	0.7221
NY 5:00 PM	110.19	1.1216	123.58	0.9880	1.4599	0.7232
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	11.64/12.14		△25RR	0.330	Yen Call Over	
NY DOW	17,526.62	▲ 3.36	債券市場			
NASDAQ	4,739.12	23.39	日本2年債	-0.2400	-	
S&P	2,047.63	0.42	日本10年債	-0.0930	0.9bp	
日経平均	16,644.69	▲ 8.11	米国2年債	0.8918	6.1bp	
TOPIX	1,338.38	2.53	米国5年債	1.3848	8.5bp	
シカゴ日経先物	16,735	160.00	米国10年債	1.8538	8.2bp	
ロンドンFT	6,165.80	▲1.97	独10年債	0.1680	3.6bp	
DAX	9,943.23	53.04	英10年債	1.4380	6.8bp	
ハンセン指数	19,826.41	▲292.39	豪10年債	2.2890	▲1.0bp	
上海総合	2,807.51	▲ 36.17	為替市況	USD/CNH	6.5784	0.0309
USDJPY 3M Vol	11.26	▲0.14%	商品市況	ドルインデックス	95.08	0.53
USDJPY 6M Vol	11.08	▲0.10%	CRB指数	185.399	▲0.46	
EURJPY 3M Vol	11.96	▲0.31%	NY金	1,274.400	▲2.50	
EURJPY 6M Vol	11.42	▲0.26%	WTI	48.190	▲0.12	
			Dubai Spot	45.74	0.31	

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
5月18日	08:50	日 GDP(季調済/前期比)/名目GDP(季調済/前期比)	第1Q 0.4%/0.5%	0.1%/0.5%
	08:50	日 GDPデフレーター(前年比)	第1Q 0.9%	1.0%
	08:50	日 GDP民間消費支出/民間企業設備(前期比)	第1Q 0.5%/-1.4%	0.2%/-0.8%
	17:30	日 英 ILO失業率	3月 5.1%	5.1%
	18:00	欧 CPI(前月比/前年比)	4月 0.0%/-0.2%	0.0%/-0.2%
	18:00	欧 コアCPI(前年比)	4月 0.7%	0.7%
5月19日	20:00	米 MBA住宅ローン申請指数	-	-1.6%
	03:00	米 FOMC議事要旨公表	-	-

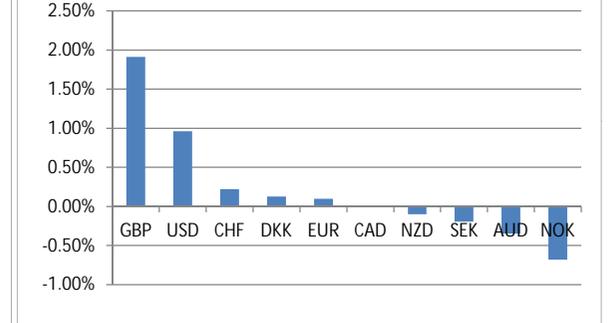
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
5月19日	08:50	日 機械受注(前月比/前年比)	3月 -2.0%/0.8%	-9.2%/-0.7%
	08:50	日 対内・対外証券投資	-	-
	10:30	日 雇用者数変化/失業率	4月 12.0K/5.8%	26.1K/5.7%
	17:00	欧 経常収支(季調済)	3月 -	19.0B
	17:30	英 小売売上高・除く自動車燃料(前月比/前年比)	4月 0.6%/2.0%	-1.6%/1.8%
	20:30	欧 ECB議事要旨公表	-	-
	21:30	米 シカゴ連銀全米活動指数	4月 -0.20	-0.44
	21:30	米 新規失業保険申請件数	-	275K
	21:30	米 フィッシャーFRB副議長講演	5月 3.0	-1.6
	22:15	米 フィッシャーFRB副議長講演	-	-
	23:30	米 ダドリーNY連銀総裁講演	-	-
	23:30	米 景気先行指数	4月 0.4%	0.2%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



東京	朝方発表された本邦第1Q・GDP(季調済/前期比)は+0.4%と市場予想(同:+0.1%)を上回る結果となるとドル円は109.10近辺から瞬時109.27まで上昇。しかし、すぐに反落しに転じ109.02レベルで東京時間オープン。本邦GDPが市場予想を上回ったことから消費増税先送りや追加緩和期待が後退したとの見方もあり日経平均株価が前日比マイナス圏での推移となると、ドル円も連れ安となり一時108.73まで下落。しかし、日経平均株価がプラス圏に浮上、その後も上昇幅を拡大するとドル円も一時109.39まで上昇した。その後は特段の材料ない中、109円台前半での方向感に乏しい推移が続き、結局109.14レベルで海外へ渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン時間のドル円は小幅上昇、109.14レベルでオープン後、目立った材料の無い中じり高推移となり一時109.61まで上昇するも、前日の高値109.65は上抜けできず反落、109.35レベルでNYに渡った。ユーロドルは横ばい、1.1285レベルでオープン後、一時売り優勢となったが、独、仏国債利回りが上昇方向での推移となったことを背景に買い戻され、結局1.1285レベルでNYに渡った。ポンドドルは上昇、1.4434レベルでオープン後、英3月平均賃金の改善も特段材料視されず横ばい推移が継続していたが、EU離脱/残留を問う国民投票の世論調査で残留派の大幅リードが伝えられると、主要通貨に対しポンド買いが優勢となり、ポンドドルは約2週間ぶりの水準まで上昇、1.4549レベルでNYに渡った。(ロンドントルフリ00531 444 179)
ニューヨーク	ドル円は109.35レベルでNYオープン。FOMC議事要旨公表を午後控え、朝方は狭いレンジでの推移が暫く続くが、EIA発表の米週間石油在庫統計を目前にし、前日のAPI発表の在庫減が明らかになったことから、原油相場が上昇する展開に円売りが優勢となり、ドル円は109.84まで上昇する。しかしEIAが在庫の積み増しを発表すると原油相場で利食い売りが強まり、ドル円も109.55まで下押しする。その後は議事要旨公表を控え、狭いレンジでの推移が続く。午後発表された議事要旨では「データ次第で6月の利上げの可能性を排除しない」とし、メンバー数人(several)が6月中旬までの指標結果が十分の利上げのサインを送らない可能性について懸念を示していることや、メンバー数人(several)が市場が6月の利上げの可能性を織り込んでいないことを憂慮していることが明らかになり、米金利が上昇する展開にドル買いが優勢となり、ドル円は110.05まで上昇する。その後一旦小緩むものの、ドルショートカバーが継続し、ドル円は110.25まで上昇した後、110.19レベルでクロスした。一方、ドル買いが優勢となったことやユーロポンドの下落に連れ安となり、1.1255まで下落したユーロドルは、1.1285レベルでNYオープン。午前中は、FOMC議事要旨公表を控え、1.1261-90での狭いレンジでの推移が続く。午後に入るとFOMC議事要旨の内容を受けたドルショートカバーに、1.1215まで下落し、1.1216レベルでクロスした。(NY 00531 113 682井上)

【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	109.50-110.70	1.1150-1.1270	122.50-124.50

【マーケットインプレッション】

昨日海外市場のドル円相場は上昇した。背景は公表された4月開催分のFOMC議事要旨の内容がタカ派的であり、6月利上げ観測が急速に高まったことが大きい。本日については一旦は上値を試すものの、上がりにくく上値の重い値動きを予想している。日足一目均衡表の雲下限が控えていることに加え、本邦輸出企業の円転意欲が高まることを意識しておきたい。本日は米国でフィッシャーFRB副議長やダドリーNY連銀総裁の講演が予定されているため、利上げ時期を巡る材料として発言内容に注目したい。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。